

響の森だより

〔ひびきのもりだより〕

2022.6.21
vol. 70



雨粒レンズ

レンズを通すと世界がさかさまに見える。
雨の日のお楽しみ♪

氷ノ山フィールドノート

響の森周辺・登山道の自然情報記録よりピックアップして紹介します。



4/20 ヤドリギの花

春のヤドリギにはあまり目を向けておらず、今回初めて雄花、雌花ともに気づきました(写真は雄花)。

ちょっと遅めの桜前線

- 4/ 8 3～5分咲き:中之島公園・若桜駅
- 数輪花咲く:若桜町湯原
- 4/13 咲き始め:つく米棚田付近
- 4/19 満開:響の森周辺

花暦

- 4/ 8 フサザクラ
- 4/20 ザゼンソウ、ショウジョウバカマ、セリバオウレン、ヤドリギ
- 4/30 ブナ(響の森植栽)
- 5/ 7 ホウノキ
- 5/10 ウワズミザクラ

動物も現れた!

- 4/ 6 イワツバメ(姿)
- 4/10 ウグイス(声)
- 4/12 イモリのオスがしっぽをフリフリ(求愛行動)
- 4/19 ヤマドリ(姿)
- 4/30 シュレーゲルアオガエル(声)
- 5/11 アカショウビン(声)



【森の小さな水族館】のバックヤードへご案内!

ぐるっと1周
川魚を展示中!!



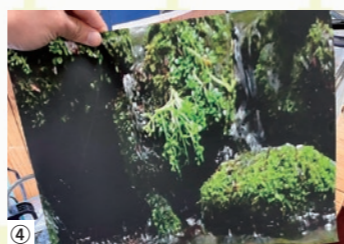
① いつの間にか書かれていた部名とかわいいイラスト



② しかも部長は左手にエビたも、右手に網の2刀流



③ 初めて並べてみましたが、こんなに増えていたとは



④ 清涼感たっぷりのオリジナルバックスクリーン

こんにちは、響の森魚部(ぎよぶ)長の佐々木です。えっ? 響の森にそんな部があったの? と考えたそこのあなた、勤が鋭い。私も同じ気持ちでした。いつの間にか他のスタッフがバケツに書いていたのです「響の森魚部」と(写真①)。さて、話を本題に戻しましょう。響の森のエントランスホールに水槽コーナーが登場して1年ほどが経ちましたが、実はこの水槽コーナーの始まりは2017年まで遡ります。「響の森だよりvol.49」にはその様子が少し書かれていますが、当時は水槽も2個程度で、どちらかというとひっそりと生き物展示をしていました。

私は一度響の森を異動し、昨年また戻ってきました。コロナ真っ只中ということもあり、館内の遊び道具も制限しなくてはならず、「遊べるものが少なくなっちゃいましたね」というご意見もいただくようになりました。どうにか触ることなく楽しめるものを増やせないかと考えていたところ、「そうだ、水槽を増やして魚をもっと展示しよう」と思ったのです。

私は小さい頃から大人になった今でも魚を観ること、捕ることが大好きです。鳥取は自然豊かで、自分が今まで見たことがなかった魚と沢山出会うことができる場所であり、尚且つ魚捕りができるフィールドがいたるところにあります。自分達が住んでいる近くの川にこんなに多様な魚が暮らしている、それを知ってもらい興味を持ってもらうだけでも、とても意味のあることだと思ったのです。そこで、昨年の春から本格的に採集と飼育を始め、水槽コーナーを「森の小さな水族館」と呼ぶことにしました。

今現在、主に鳥取県東部で捕獲した魚を約15種類展示し、水槽の数はなんと12個に増えました。

さて、ここからは採集・飼育事情の裏側を紹介する「森の小さな水族館」バックヤードツアーの始まりです。この夏魚捕りをして飼育を考えている方の少しでも参考になれば嬉しいです。

まず採集に関してですが、地元若桜町や八頭町、鳥取市内の河川や小さい水路で採集をしています。響の森魚部では水際の草などを網と足を使ってガサガサする通称「ガサガサ」を主にしていますが、個人的におすすめしたいのは自称「川でもシュノーケリングスタイル」です。初めて会った人に私の格好を見られると良く笑われますが(写真②)、私がこのスタイルにたどり着いたのはちゃんと訳があるのです。息継ぎをした瞬間に大物の魚を見失い、がっくりきた経験はありませんか? このスタイルだとその問題が解消できるのです。見た目を気にしない方は是非。

次に飼育についてですが、これがなかなか難しく、今でも試行錯誤の日々です。というのも、響の森周辺の水質と、採集してきた魚が生息している場所の水質は異なっている可能性が高いのです。魚は水質の変化に敏感なものも多く、そのストレスから病気になったり、それが原因で死んでしまうことが良くあります。響の森でも原因が分からずに急に次々と飼育魚が死んでしまうことも…。魚にとっては生息していた場所が最適な環境のため、なるべく魚に合わせて砂の種類を変えたり、隠れ家を用意していますが、それでも死んでしまった時はとても申し訳なく思います。

日常管理で大変なのはやはり餌やりと掃除です。魚も人間と同じで食べ物の好き嫌いがあるので、魚の種類が増えれば増えるほど餌の種類が大変なことに(写真③)。水槽の見た目を保つために拭き掃除はもちろんですが、糞や残った餌は水が汚れる原因になるため網で定期的に回収します。更に水質を安定させるために、2週間に一度水槽の水を4分の1から3分の1程度交換し、必要に応じて米とぎの要領で砂利の掃除を行っています。ちなみに水槽を作る上で工夫したところは、スタッフ手作りのバックスクリーンです。実は氷ノ山のわさび谷というコケが綺麗な場所の写真を使用しているのですが(写真④)、水草が無くても水槽がとても綺麗に見えるので、この方法はかなりおすすめです。

さて「森の小さな水族館」のバックヤードツアーはいかがでしたでしょうか? 私は今水族館のスタッフさんで大変なんだなあなんて思いながらも、水槽に駆け寄る子ども達、椅子に座りながらずっと魚を眺めている大人の方を見て、「作って良かった」「もっと良い展示にしたい」という気持ちが湧いてきます。響の森にお越しの際に、水槽コーナーの近くでいそいそしている私を見かけたら是非お声掛けください。バックヤードツアーの続きをもう少しご案内できればと思います。(佐々木)

※魚種や時期によって規則により禁漁区域および禁漁期間が定められていますので、ご注意ください。

あんなこと、こんなこと



くるくるスネークパンを焼こう
5/3(火祝)・4(水祝)・5(木祝)(GW中)

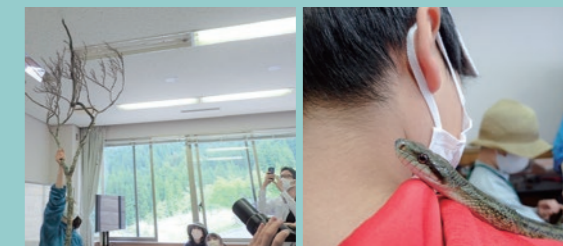


大人気企画「くるくるスネークパンを焼こう」では、大人から子どもまでたくさんの方にパンを焼いていただきました。ふわふわなパン生地を自分で伸ばし、竹串に巻き付けていきます。焼いていく間の膨らんでいくパンにみんなわくわく♪ 焼き立てのパンを頬張る皆さんの笑顔をたくさん見せていただきました。



親子自然研究クラブ「ヘビの観察」

5/21(土)



他ではあまりやってないヘビの観察会、人気に陰りが見えませんが、フィールドではヤマカガシを観察、室内ではアオダイショウとシマヘビをじっくり観察しました。今年アオダイショウとシマヘビで木登り実験をしました。天井近くまで上ると登っていくアオダイショウにはみんな大興奮。「私にも登ってほしい」という勇気ある子どもと大人が次々と腕を差し出し、まるでヘビ使いの集会のようでした。



わかさ氷ノ山夏山開き

5/29(日)



晴れ渡った青空の下、3年ぶりに一般の方も参加して、氷太くん駐車場で神事を執り行うことができました。いよいよ夏山シーズンの到来です。響の森は登山ではなく、周辺での自然散策ガイドウォークのガイドにて協力♪ クロモジの匂いを嗅いでもらったり、スギの幹を小動物が引っ掻いて毛羽立っている様子を見てもらったりと氷ノ山の自然をじっくり体感してもらいました。

響の森インタープリターのイチ押し情報

玄関の骨は語る



「響の森の入口に、恐竜の化石がある!」と言われることがありますが、玄関に置いてあるのはシカの骨です。森の中で発見された状態のままを展示しています。かつて生きていたものが死んで土に帰っていく。山のどこかで今日も巡る、命のドラマを感じられる展示コーナーです。

Highly Recommended

クルー活動紹介

※クルー：響の森ボランティア

3月~5月の活動内容

- 魚採取 響の森魚部(2)
- イモリの溝掃除(4)
- GWネイチャーキッズフェスティバル(9)
- 親子自然研究クラブ補助(2)
- 植物・登山道等情報提供(5)

()は延べ人数



イモリの溝掃除

クルーの皆さんと親子自然研究クラブ有志の皆さんにお世話になりながらイモリの溝掃除を行いました。溝の一部がイノシシの掘り返した土で埋まっていたが、皆様に掃除していただいたおかげで復活しました! ありがとうございました。

クルーを随時募集しています!
お問い合わせ・登録はお気軽に響の森まで!

Activity Report

7月

2日(土) 8/31日(土)

いつでも作れるコーナー
・森の木バッジ

土日祝
(16日から)
毎日開催


夏の企画展
「いきもの、バンザイ!
～生物多様性とその保全～」

私たちの周りにはたくさんの生き物があります。食べたり食べられたり助け合ったり、いつも使っている物の材料になったりして、実はみ～んなつながっている。いろんな生き物とそのつながりについて考えてみよう。

- 国立科学博物館巡回展 「日本の生物多様性とその保全」
- 鳥取県生物多様性地域戦略の紹介
- 氷ノ山・響の森での保全取り組みの紹介
- 川魚の水槽展示 など

16日(土) 8/28日(土)

無料



【会場】響の森エントランスホール及びイヌワシホール

17日(土)	木の自由工作 材料は響の森で集めた木の枝や木切れ。何を作るかはあなた次第。	
18日(日)	スペシャル観察会 「石ころ標本を作ろう」	
24日(土)	川のようにえん+(プラス)	
30日(土)	親子自然研究クラブ 「磯の生き物観察」	
8月 7日(土)	親子自然研究クラブ 「昆虫観察」	
11日(日)	川のようにえん+(プラス)	
13日(土) 15日(日)	お盆企画創作体験 「昆虫を作ろう」	
14日(日)	氷ノ山御来光登山	

Recommended Books 森のオススメ本

子育てがんばる、カメムシのおかあさん

春や秋などの季節の変わり目にはカメムシが多くみられます。そんなカメムシ、皆さんはどんな印象をお持ちですか？この本では、真っ赤なカメムシが子育てに奮闘する姿が描かれています。卵を抱えて移動し幼虫のために食べ物を運ぶお母さんカメムシの姿に、普段と違った印象を抱くのではないのでしょうか？この本に出てくるカメムシは、本州の西日本より南に生息しています。プチマトみたいでちょっとかわいいですね。



【写真・文】新開孝 【出版社】小学館

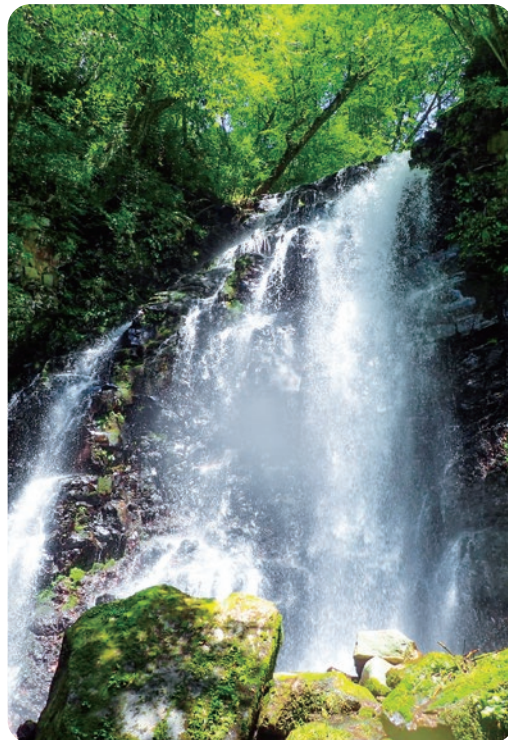
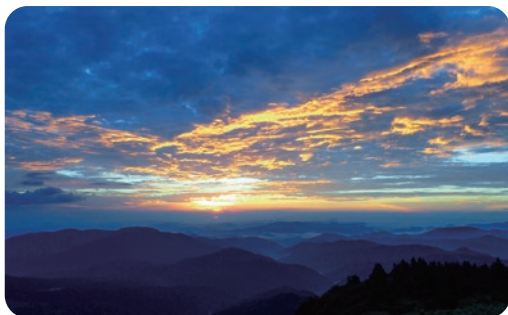
Information

イチ押しイベント

シャワークライミング



暑い、暑くてもうダメだ！
というときにぴったりのアクティビティ、それは「シャワークライミング」です。冷たい沢に飛び込めば、夏バテもどこへやら。苔むした沢の風景にはリラックス効果が。(あるに違いない)
今年はエコツアーのみの受付です。ご家族やご友人と氷ノ山の沢で夏の思い出作り！
まずはメールかお電話でお問い合わせください。



お問い合わせ TEL (0858) 82-1620

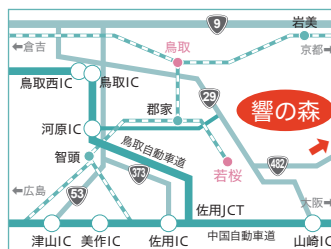


(一財)鳥取県観光事業団

〒680-0728 鳥取県八頭郡若桜町つくよね635-175
TEL (0858) 82-1620 FAX (0858) 82-1612
[E-mail] info@hibikinomori.gr.jp
[HP] https://www.hibikinomori.gr.jp/

開館時間 / 午前9時～午後5時

休館日	4月～9月	10月・11月	12月～3月
	月曜日	月・火曜日	月～水曜日
	夏休み 期間中は無休		12/29～1/3
	祝日の場合は翌日休		



編集後記

昨年はコロナウイルスの感染拡大で十分楽しめなかった分、今年の夏はリベンジシャワークライミング!(高橋) 今年の春は暑い日が多くて、早々に水が恋しくなりました。ドボ～ってしたい!(岡田) 海!沢!川!夏は自分が好きなものが多過ぎて時間が足りない!(佐々木) 動め始めて早2か月。慣れないことも多いですが、最近は夜カエル探しに行くことが楽しいです。(寅延)